

会

報

社団法人 日本病理学会
 〒113-0033
 東京都文京区本郷2-40-9
 ニュー赤門ビル4F
 TEL: 03-5684-6886
 FAX: 03-5684-6936
 E-mail jsp-admin@umin.ac.jp
 http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第214号

平成17年(2005年)11月刊

1. 平成17年度学術奨励賞受賞候補者の推薦について

社団法人日本病理学会学術委員会は、平成17年度学術奨励賞受賞候補者の推薦を以下のとおり募集いたします。

平成17年11月
 社団法人 日本病理学会
 理事長 森 茂 郎
 学術委員長 岡 田 保 典

平成17年度学術奨励賞受賞候補者の推薦について

学術奨励賞は、病理学の基礎的研究あるいは診断業務の中で特に優れた学術的貢献を行った本学会若手会員に対して与えられる賞です。

受賞対象者は、その年度末(3月31日)段階で3年以上の会員歴を持つ40歳以下の会員としています。

学術評議員各位には、下記の要領で候補者の推薦をお願いいたします。

推 薦 要 領

1. 本年度は、数名への授与を予定しています。
2. 募集締切り期日は、平成18年1月31日(当日消印有効)とします。
3. 候補者の推薦にあたっては、日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式をご利用の上、書留郵便にて日本病理学会事務局までご送付ください。ダウンロードできない場合には本学会事務局までご請求ください。
4. 学術奨励賞受賞者には、正賞としての賞状、及び副賞として10万円と記念品が贈呈されます。
5. 賞の授与は、次年度の総会において理事長が行います。

なお、本件について、ご質問などがありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

2. 平成18/19年度役員(理事・監事)の選出について(お知らせ)

平成17年11月1日
 社団法人 日本病理学会
 選挙管理委員長 原 正道

社団法人日本病理学会選挙管理委員会は、平成18/19年度役員(理事・監事)選出のため、役員立候補の公募・選挙を実施し、所定の役員を選出決定(記の1)しましたので報告いたします。なお、このたびの役員・理事長選挙は、次の日程で行われました。

第1回委員会(6月2日): 役員選挙の公示文書および選挙の概要の確認。6月20日付けにて、役員候補者の公募を通知。

第2回委員会(8月2日): 役員立候補者の確認。8月20日付けにて、立候補者が定員を超えた選出区分において選挙公示。正会員数3,873名(8月20日現在)による投票(9月9日消印有効)。

第3回委員会(9月13日): 役員選挙開票・選出(記の2)。投票数1,672通、投票率は43.2%(9月13日)。ただし、役員立候補者が定員内の選出区分については、無投票当選者を確認・選出(記の3)。理事長選挙への所信表明の公募(9月30日締切)。

第4回委員会(10月4日): 理事長選挙の公示文書の確認。10月11日付けにて、理事長選挙の公示。正会員数3,881名(10月11日現在)による投票(10月28日消印有効)。

第5回委員会(11月1日): 理事長選挙開票・選出(記の4)。投票数1,281通、投票率は33.0%。結果は、立候補ではないため、次点まで掲載。

記

1. 平成18/19年度役員(理事・監事)選出

理事長	長 村 義 之
理 事	青 笹 克 之
理 事	深 山 正 久
理 事	林 良 夫
理 事	樋 野 興 夫

理事 井内 康輝
 理事 黒田 誠
 理事 真鍋 俊明
 理事 中島 孝
 理事 中沼 安二
 理事 根本 則道
 理事 小川 勝洋
 理事 岡田 保典
 理事 坂本 穆彦
 理事 笹野 公伸
 理事 澤井 高志
 理事 居石 克夫
 理事 恒吉 正澄
 理事 堤 寛
 監事 松原 修
 監事 手塚 文明

(氏名は、役名ごとにABC順で記載)

2. 役員選挙投票結果

○地方区選出理事 (1名)

	順位	氏名	得票数	
1-3 関東	1.	中島 孝	341票	当選
	2.	内藤 善哉	248	次点

内訳；会員数 1,448 名，投票数（率）597 票（41.2%），
有効投票数 589 票

○全国区選出理事 (11名)

順位	氏名	得票数	
1.	長村 義之	749票	当選
2.	真鍋 俊明	738	当選
3.	深山 正久	699	当選
4.	黒田 誠	632	当選
5.	恒吉 正澄	570	当選
6.	堤 寛	547	当選
7.	根本 則道	467	当選
8.	笹野 公伸	453	当選
9.	坂本 穆彦	419	当選
10.	岡田 保典	382	当選
11.	樋野 興夫	309	当選
12.	上田真喜子	290	次点
13.	覚道 健一	285	
14.	安井 弥	273	
15.	落合 淳志	227	

内訳；会員数 3,873 名，投票数(率)1,672 通(43.2%)，有効投票数 1,587 通，総投票数 7,043 票，有効投票数 7,040 票

3. 無投票当選者

○地方区選出理事 (6名)

1-1	北海道	小川 勝洋	当選
1-2	東北	澤井 高志	当選
1-4	中部	中沼 安二	当選
1-5	近畿	青笹 克之	当選
1-6	中国四国	井内 康輝	当選
1-7	九州沖縄	居石 克夫	当選

○全国区選出理事 (口腔病理部会長兼務) 1名

林 良夫 当選

○監事 2名

松原 修 当選
 手塚 文明 当選

4. 理事長選挙投票結果

○理事長

順位	氏名	得票数	
1.	長村 義之	480票	当選
2.	深山 正久	243	次点

内訳；会員数 3,881 名，投票数（率）1,281 通（33.0%），
有効投票数 1,227 票

以上

3. 「日本病理学会学術集会の改革案」に関する支部会・ホームページでのアンケート調査(まとめ)について

標記の件について，学術・研究合同委員長より，以下のとおり報告がありましたのでお知らせいたします。

平成 17 年 11 月 7 日

社団法人 日本病理学会

学術委員長 岡田 保典

「日本病理学会学術集会の改革案」に関する支部会・ホームページでのアンケート調査(まとめ)

全国各支部とホームページでのアンケート調査により，合計 75 件の返事を回収・解析いたしました。以下に報告いたします。提案した項目に関しては，賛否だけでなく，貴重なご意見をいただきました（詳しくはホームページをご覧ください）。アンケート調査に協力いただきました会員の皆様に心から感謝申し上げます。

(1) 春期学術集会：「診断講習会・臓器別講習会」の多くを早朝・夕方および秋期学術集会に移動し，一般発表演題との重なりを少なくする。また，宿題報告は1会場で行い plenary を維持する。

回答率：88%
 賛成：42件 → 64%
 反対：7件 → 10%
 その他：17件 → 26%
 (無回答：9件)

(2) 秋期学術集会：「A 演説 (7~8 件)」と「診断シリーズ (2 件)」は 1 会場で行い plenary を維持するが、「B 演説」や「シンポジウム」は複数会場で行い、「診断講習会・臓器別講習会」や「公募演題」を適宜導入することで世話人の自由度を広げる。また、秋期学術集会の参加単位数を 10 点から 20 点に上げる。IAP, 病理技術講習会, スライドセミナー, 診断講習会・教育講演などを効果的に連動させる。また、「B 演説」のあり方についてはさらに検討する。

回答率：80%
 賛成：30件 → 50%
 反対：3件 → 5%
 その他：27件 → 45%
 (無回答：15件)

(3) 学術集会プログラム調整委員会：春・秋学術集会の統一性を保つため、コアになる「シンポジウム・ワークショップ」「診断講習会」や学術集会に連動する「講習会」「講演」「その他のイベント」などの設定に助言を与える学術集会プログラム調整委員会を立ち上げ、これらの乱立をさけることで同時進行する会場数を減らす。

回答率：65%
 賛成：36件 → 74%
 反対：7件 → 14%
 その他：6件 → 12%
 (無回答：26件)

(4) その他、全体を通して意見
 回答率：44件 → 59%
 (無回答：31件)

4. 会員の訃報

以下の方がご逝去された。

北村 且 名誉会員 (平成 17 年 11 月 1 日ご逝去)

お知らせ

1. 第 47 回藤原賞受賞候補者の推薦について

申込み締切り：平成 18 年 1 月 31 日

連絡先：(財) 藤原科学財団

〒104-0061 中央区銀座 3-7-12

TEL 03-3561-7736 FAX 03-3561-7860

2. 第 37 回 (平成 18 年度) 三菱財団自然科学研究助成金の募集について

申込み締切り：平成 18 年 2 月 3 日

連絡先：(財) 三菱財団事務局

〒100-0005 千代田区丸の内 2-5-2

TEL 03-3214-5754 FAX 03-3215-7168

3. 千里ライフサイエンスシンポジウム「ゲノム創薬—その医療への応用—」について

会 期：平成 18 年 2 月 7 日

会 場：千里ライフサイエンスセンター

連絡先：千里ライフサイエンス振興財団シンポジウム係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

TEL 06-6873-2001 FAX 06-6873-2002

4. 第 39 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会について

会 期：平成 18 年 7 月 6 日~7 日

会 場：札幌コンベンションセンター

連絡先：旭川医科大学整形外科学教室

〒078-8510 旭川市緑が丘東 2 条 1-1-1

TEL 0166-68-2512 FAX 0166-68-2519

会費口座自動振替についてのお知らせ

事務局では平成 18 年度会費口座自動振替の準備をいたします。新規お申し込み、または口座変更、ご退会、院生・初期研修医会費適用希望 (平成 17 年度適用者も含む)、その他のことがございましたら 12 月末日までに事務局宛お知らせください。すでにお届けを頂いている場合の再連絡は必要ありません。

また、終身会費のお納めにつきましては、該当される先生に事務局よりご連絡をさし上げます。

社団法人 日本病理学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-40-9 ニュー赤門ビル 4F

TEL : 03-5684-6886 FAX : 03-5684-6936

E-mail : jsp-admin@umin.ac.jp

会 員 各 位

平成 17 年 11 月
理 事 長 森 茂 郎
学術委員長 岡 田 保 典

第 52 回（平成 18 年度）日本病理学会秋期特別総会 学術研究賞演説（A 演説）、B 演説について（公募のお知らせ）

平成 17 年 4 月の総会において報告いたしましたとおり、従来の A 演説は学術研究賞（A 演説）と呼称変更されました。平成 18 年秋開催予定の第 52 回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞演説（A 演説）・B 演説の応募内容は、以下の要件を満たすことといたします。

学術研究賞演説（A 演説）

- (1) 優れており、かつ蓄積された研究であること。
- (2) 原則として日本国内で行われた研究であること。
- (3) 内容に関する責任の明確な研究者による発表で、内容は共同研究によるものであっても発表者自身はそれを代表するものであること、従って単独名が望ましい。

B 演説

- (1) 症例報告または症例の蓄積による解析。

学術研究賞演説（A 演説）、B 演説担当者として講演することを希望する会員は、下記の要領でご応募ください。

記

学術研究賞演説（A 演説）

- (1) 応募資格：日本病理学会員でありかつ学術評議員による推薦を受けた者。ただし、応募者自身が学術評議員である場合、自薦で可とする。
- (2) 提出書類：
 - ・日本病理学会ホームページよりダウンロードした**所定の書式**に、応募者名、演題名、選考用抄録（800 字以内）などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けてください。ダウンロードできない場合は、日本病理学会事務局までご請求ください。
 - ・講演内容に直接関係のある自著論文 20 編以内の一覧。
 - ・代表的な自著論文 5 編以内の別刷各 3 部（コピー可）。
- (3) 提出先：〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-40-9 ニュー赤門ビル 4F
社団法人日本病理学会事務局
「学術研究賞演説（A 演説）応募抄録」と表記し、書留郵便により郵送してください。
- (4) 募集締切：平成 18 年 1 月 31 日（当日消印可）

B 演説

- (1) 応募資格：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。
- (2) 提出書類：
 - ・日本病理学会ホームページよりダウンロードした**所定の書式**に、応募者名、演題名、選考用抄録（800 字以内）などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けてください。ダウンロードできない場合は、日本病理学会事務局までご請求ください。
- (3) 提出先：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。「B 演説応募抄録」と表記し、書留郵便により郵送してください。
- (4) 募集締切：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。

以上

第 52 回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞演説(A 演説), B 演説担当者は、平成 18 年 2 月の学術委員会において厳正・公明に選考し、同日の理事会での審議によって決定いたします。

本件についてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または学術委員長までお問い合わせください。

社団法人日本病理学会事務局：TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936

学術委員長（岡田保典）：TEL 03-5363-3763 FAX 03-3353-3290